

防犯意識と鍵

島根県島根大学教育学部附属義務教育学校 7年 高居 太一



僕は自転車を2台使って登校しています。自宅から自転車で最寄りの駅まで行き、電車で学校の最寄りの駅まで行き、そこから学校まで自転車で行きます。自転車を2台も使うので僕にとってとても重要な移動手段です。

しかし、僕はいつも鍵をかけずに駐輪場に置いてきてしまいます。盗まれる可能性があることをわかっているのに、いつも鍵をかけるのを忘れてしまいます。僕はこれまで鍵をかけなかった自転車を奇跡的に盗まれたことはありませんが、そのような鍵のかけ忘れで、日本全国で毎日何百台と盗まれているらしいです。自転車の盗難数は年々増え、年間でなんと約17万台もの盗難被害が出ているそうです。この数は単純計算で1日で約440台もの被害が出ていることがわかります。そして、この数を見て

「盗む方も悪いと思うけど、鍵をかけたりしない方も悪い気がする。」
と思いました。

僕のように鍵をかけない人も多く、自転車を盗まれた人のうち約3割が鍵をかけていなかったそうです。盗まれていない自転車も含めると半分くらいの人が自転車の鍵をかけていないのではないかと思います。また、鍵をかけていても盗まれることがあり、それらを含めて年間約17万台という数になるのだと思います。

自転車が盗まれやすい場所は駅の駐輪場などです。人が多いぶん自転車も多く、盗む側からしたら格好の場所になるでしょう。

また、学校での盗難被害もよくあるそうです。学校の敷地内だからという理由で安心して鍵をかけない人が多く、それが原因になるそうです。高校や大学などは全校が500人を超えるところが多いので、より多くの注意を払う必要があります。鍵をかけていない自転車を人通りの多い駅に置いておくことは、駅に現金を置いていくようなことで、とても危険だと思います。

また、初めて学校への自転車通学が許可される中学生の鍵のかけ忘れも多いそうです。鍵をかけることの重要性を知らないまま中学校に上がってしまう人が多いのが原因です。実は僕もそうで、よく駅で自転車の鍵をかけ忘れま

す。そもそもなぜ自転車を盗むのか、と思ったことはありませんか。その理由はいろいろあるようですが、1つ目は短距離の移動に使われるです。ちょっとした距離を移動したいけど歩くには少し遠いかも、といった人が鍵のついていない自転車を盗っていくといった感じです。2つ目は売るためです。自転車にもよりますが、数万円になる場合があるそうです。その場合は自転車がみつかる

ことが少なく、諦めないといけない場合がほとんどです。

そこで自転車盗難への対策です。自転車を盗まれたことのある人は多く、日本人の人口に対して約23パーセントもいるそうです。5人に1人が盗まれたことがあるということです。しかも鍵をかけていても盗まれたという例がありますが、それらの対策として鍵を二重にかけることも良いでしょう。二重にかけることで確実に盗難の可能性は減るはずですが、また、地面にくっついている動かない物に括り付けるのも良いと思います。例えば木やフェンスなどが良いでしょう。他にも駐輪場に防犯カメラが1つあるだけでぐんと盗まれる確率が下がります。

さらに、「防犯登録」をすることで自転車が盗難にあったときに防犯登録情報と所有者の氏名などを紐づけることができます。登録すれば圧倒的に自転車を見つけやすくなるそうです。諦めずに盗難届を出して待つことも大切です。それからしばらくして見つかったという場合がいくつもあります。

僕はこれまで鍵をかけることをそこまで重要ではないと思っていましたので、鍵のかけ忘れを注意されてもそこまで気にしていませんでした。しかし、この作文を書く過程で、自転車の鍵をかける事の大切さを知りました。これからは学校でも駅の駐輪場でも毎日しっかり鍵をかけようと思いました。鍵をかければかけるほど盗難数が減りますし、悪いことは無いので、鍵をかけることの重要性をみんなに知ってもらいたいです。